

題詠『雪』

里の冬
風がやんで
雪化粧
熟柿と黒い幹が
一面の白に映える

杉下 啓恵



雪の白さを
久しく見ない
雪の冷たさに
久しく触れない
雪よ 降り

高原 美智子

何もかも隠すように

野や山は
装いを変え
雪原は
私を無にする

玉田 久美子



シンシン
ハラハラ
ズシィズシィ
心が違えば
聞こえる音も違ってくる

松本 晴美

庭のヒイラギ
小さな雪のような 広い花が
初めて咲き 愛おしい
香りも つい香のー!
深く 吸う

大槻 幸子

